

中海エコ活動レポート

全国アマモサミット2009を開催しました！



11月6日のパネルディスカッションの風景



子ども達の手でアマモ移植用シートを作成しました。

平成21年11月6日(金)~7日(土)に、第2回目となる「全国アマモサミット2009」を中海を舞台として開催しました。

サミットは、鳥取・島根の両県民、全国のアマモ場再生活動に関わる人達が約300人参加し、アマモ場再生活動を通じた中海の自然再生を話し合ったり、中海の現地見学などを行いました。

- 全国アマモサミット2009
～全国アマモサミット2009実行委員会～
- 中海の食を広めよう
～NPO法人自然再生センター～

- 子どもの力は地域を変える
～東出雲町下意東地区子どもエコクラブ～
- 中海湖沼環境モニター

全国アマモサミット2009

平成21年11月6日(金)～7日(土)「全国アマモサミット2009」を米子市・境港市で開催しました。

海のゆりかごとして多くの海で繁茂していたアマモ場は、近年急速に減少しました。このサミットは、減少したアマモ場の再生活動を行っている全国の人々が集まり、情報交換や意見交換などを行う場として、平成20年度に横浜市で第1回が開催されたものです。

今回は、全国各地におけるアマモ場の再生活動への取り組み状況を知り、今後の中海におけるアマモの再生活動に活かすために、NPO、大学、関係行政機関が協働して開催しました。

鳥取県と島根県にまたがる中海は、2005年に宍道湖とともにラムサール条約に登録され、その保全と賢明な利用が求められています。

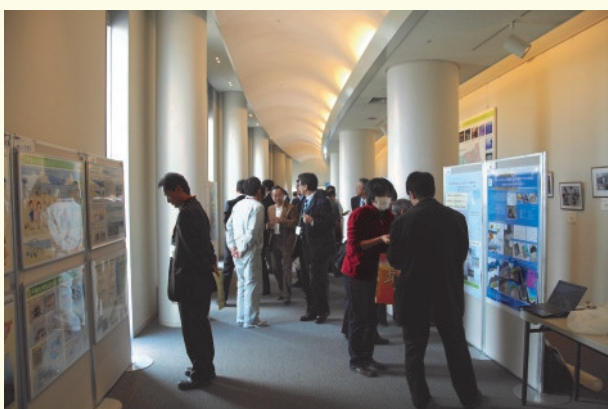
アマモ場は、水質を浄化したり、魚類のすみ家になるため、中海の自然再生には、アマモ場の再生が一つの重要な鍵になると考えられます。このサミットでは、アマモ類再生に関する全国の活動状況を知り、中海について考える2日間でした。



【1日目】・・・米子コンベンションセンター

1日目は、講演・パネルディスカッションとパネル展示を行い、地域の方々をはじめ、NPO、行政の関係者など約300人が集まりました。

パネルディスカッションでは、『コアマモ・アマモによる中海再生 ～よみがえれ中海～』を



テーマに、中海でのアマモ類再生のためにはどうすればいいのか、活発な議論が行われました。

パネル展示では、アマモ類を再生させようとする取り組みをしている全国のNPO、大学、行政等19団体の活動をパネルで紹介するとともに、情報交換、意見交換が行われました。

【2日目】・・・境港市・中海湖上

○アマモ場再生活動の見学

午前には、アマモ・コアマモ移植事業を見学しました。

子供たちを中心に、みんなでアマモ・コアマモの種子の移植マットを作成。このシートをダイバーが中海に敷設しました。アマモが中海で元気に育ってくれるよう願いました。



○中海湖上観察会

午後は、白鳥号に乗ってクルージング。約50人もの参加者が乗船しました。湖上からの景色を眺めながらお弁当を食べ、ゆったりと中海を一周。天気が良く、とても気持ちのよいクルージングでした。



第3回大会は、鹿児島県指宿市で開催予定です。水環境改善のためには、地域の人たち、NPO、専門家、行政などが一緒になって、長期的に取り組んで行くことが重要です。アマモサミットが全国で引き継がれ、アマモ場の再生活動が広がっていくことが期待されます。

地中海の食を広めよう NPO法人自然再生センター

私たちは、「豊かで遊べるきれいな中海」を合い言葉に豊かな汽水域の環境と生態系、そして心に潤いをもたらすきれいな自然を取り戻し、かつての中海の自然を再生することを目的としています。

そこで、中海を「食」から慣れ親しんでもらい、中海を身近に感じてもらおうと活動をしているのが「地中海の食を広めよう会」です。



ところで、地産地消・フードマイレージに関心が寄せられる中、本当に中海の魚介類は豊富にあるのでしょうか？平成21年度は、島根県の「おいしい・たのしい・ためになる」食育推進事業の助成を受けながら、「中海の水産資源をおいしく食べ・中海で楽しく遊び・中海を勉強」しました。今までに「アカガイ（サルボウ）」「コノシロ」「エイ」「サッパ」「セイゴ」「ゴズ」「ウナギ」「オゴノリ」「カキ」「ヨコガイ」を中海に出かけて採り、調理して食べました。伝統的な調理方法を地元の方に教えてもらい、一方では現代に合ったレシピの開発などで、中海の水産資源を食卓の一品になるようにしたいと思います。「中海産魚介類の利用促進」→「漁業の再生による物質循環」→「豊かで遊べるきれいな中海」へとつながることを願っています。

■NPO法人自然再生センター
TEL (0852)21-4882
FAX (0852)61-0900
<http://www.sizen-saisei.org/>

子どもの力は地域を変える

東出雲町下意東地区子どもエコクラブ

【下意東地区子どもエコクラブ結成】

当時は年々、地域の川にゴミのポイ捨てが多くなったり、イヤなおいがしたり、また道路にもゴミがあったりと環境が悪化してきていました。

平成8年の夏、地域の子どもたちが「意東川に虫が戻ってくるといいね」の一声から、平成9年4月に活動がスタートし、その年の8月に全国登録しました。

活動内容は、地域の川の状況調査を行い、地域に情報提供しながら地域の大人といっしょに美化活動を行うことにしました。大人といっしょに行うことで、自分たちではできない大きなことができたり、関心のなかった保護者世代が参加したりとお互いに良い刺激となったよう



です。現在は、地域の美化活動グループの一員として活動しています。

【活動の展開】

地域の川の環境改善のために発足したクラブでしたが活動の幅が広がり、中海の水質検査・ゴミ拾い、地域の広場の清掃、エコクッキング、廃油ローソクの普及活動等、地域の大人に環境問題に関心を持ってもらうよう地域の公民館まつりで地域に情報発信しています。

これからも、子どもの力で地域の大人を環境問題解決のために引っ張り出そうと思っています。



■下意東地区子どもエコクラブ
代表サポーター 星野 幸代

【中海を五感でチェック！】

中海の水質がきれいか汚いかの評価は、CODや窒素、リンなどを分析して行っていますが、これらの数値は科学的知識が必要なため、一般的には分かりにくいものです。

このため、より分かりやすく中海の環境が評価できる指標として、人の五感(見る・聞く・触れる・嗅ぐ・味わう)による湖沼環境指標を島根県で作成し、平成16年10月から調査を開始しました。

当初は、島根県側の中海だけの調査でしたが、平成19年10月からは、鳥取県側も含めた中海一円を五感でチェックしています。



【こんな方法でチェックします。】

では、実際のチェック方法を説明します。

公募した県民モニターの方に、毎月1回 担当地域の中海湖岸に出向いて貰い、五感ごとの観測項目の選択肢の中でその日がどれに当てはまるかを選んで採点をしてもらいます。

そして、その結果を集計し、各観察項目の合計点数(100点満点)に応じて、AからCのランクで中海の環境を五感で評価します。

【結果】

さてさて、中海一円で調査が行われるようになった平成19年10月以降の2年間の結果は、次のとおりとなっています。

◎平成19年10月～平成20年9月 69.9点

◎平成20年10月～平成21年9月 68.4点

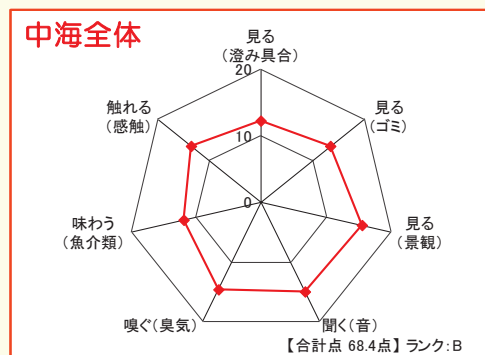
この2年間とも、ランクB「やや気になる面があるが、ますます良好な環境であると感じられる」でした。

皆さんも、中海の環境を五感でチェックしてみませんか。

■五感による湖沼環境指標

五感	観察項目	選択肢
見る	湖水の澄み具合	澄んでいる(20点)
		少しにごっている。(10点)
		にごっている。(0点)
	ゴミ	ほとんどない(20点)
		少し見あたる(10点)
		たくさんある(0点)
景観	美しい・心がなごむ・風情がある(10点)	
	特に感じることはない(5点)	
	殺風景・見通しが悪い(0点)	
聞く	音	こちよく感じる音・静かで落ち着く(10点)
		特に気にならない音(5点)
		うるさく感じる音(0点)
嗅ぐ	臭気	こちよい香り・臭いはない(20点)
		特に気にならない臭い(10点)
		くさく感じる(0点)
味わう	魚介類	食べてみたい(10点)
		どちらでもない(5点)
		食べてみたいと思わない(0点)
触れる	湖水の感触	触ってみたい(10点)
		触ることに少し抵抗がある(5点)
		触りたくない(0点)

合計点数	ランク	評価内容
80点以上	A	おおむね良好で親しみやすい環境にあると感じられる。
50～79点	B	やや気になる面があるが、ますます良好な環境であると感じられる。
49点以下	C	快適さに欠け、親しみにくい環境にあると感じられる。



集計期間：平成20年10月～平成21年9月

イベント・活動の情報について

中海の環境活動のイベントを、次のホームページ（中海エコ活動イベント情報）に掲載しています。

ホームページアドレス <http://db.pref.tottori.jp/NEAI.nsf>

編集・発行者

鳥取県西部総合事務所
生活環境局環境・循環推進課
鳥取県米子市鞆町一丁目160
電話 (0859)31-9350
E-mail: seibuseikatsukankyo@pref.tottori.jp
Homepage: <http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=69208>

島根県環境生活部環境政策課
島根県松江市殿町1番地
電話 (0852)22-5562
E-mail:kankyo@pref.shimane.lg.jp
Homepage: <http://www.pref.shimane.lg.jp/kankyo/>

記事募集

中海エコ活動レポートに掲載する記事、イベント情報、写真を募集しています。詳しくは、左記連絡先に連絡していただくか、ホームページをご確認してください。なお、投稿にあたっては出来る限り電子データで投稿をお願いします。